

【 背 景 】

高度成長期に大量に建設された社会インフラの耐用年数切れが迫っています。財政逼迫による新規事業減少、環境保全の考え等から、国は橋梁等の社会インフラの耐用年数を2倍に延命化することも検討しています。今後劣化診断等のメンテナンスに関する需要が急速に拡大することは確実です。

こうした中で、茨城県には、劣化診断技術の基礎となるセンシング技術、自動化・制御技術、真空技術など、優れた技術を保有している中小企業が集積しております。これらの知恵と技術を結集して新たな劣化診断技術等の研究開発を行ない、メンテナンス市場への参入を促進することを目的とした、産学官連携の「茨城県メンテナンスビジネス研究会」を設立し活動を行なっております。

【研究会概要】

参加機関

産： 機械製造業、建設業、劣化診断に携わる企業
コンクリート2次製品製造業、 など

学： 土木研究所、建築研究所、茨城大学、筑波大学、
千葉工業大学 など

官： 商工労働部、工業技術センター、土木部、企業局 など

分科会

3つの対象に絞って検討

- ・コンクリート構造物
- ・上下水道管
- ・プラント配管

【活動内容】

勉強会・講演会

計4回開催いたしました。

7/3 第1回研究会

内容：趣旨説明、座長の決定、分科会設置の決定
講演：コンクリート劣化診断技術の現状と課題

10/16 分科会(研究開発検討会)

内容：各対象に対する現有診断技術について
講演：茨城県における公共施設の長寿命化の取り組み

12/16 第2回研究会

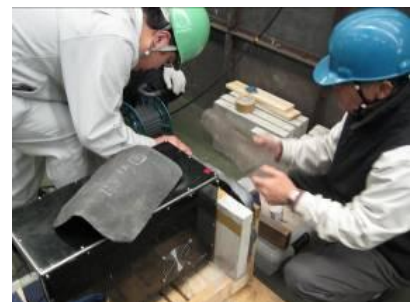
内容：ニーズの調査について
講演：最新ゼオセンシング技術の紹介

3/18 第3回研究会

内容：研究開発結果報告 今後の開発課題の検討
講演：橋梁メンテナンスデータベースについて



研究会の様子



ベータトロンによる実験

研究開発活動

新技術開発に向けた実験も行っています。今年度は会員企業、センター共同で、ベータトロン方式のX線源が、コンクリートの内部診断に適用できるかの検証を行ないました。

【今後の予定】

来年度もひきつづき、勉強会・講演会を行なってまいります。また研究開発の検討を本格化させていただきます。興味をお持ちになられましたら、下記までご連絡ください。

基礎となった事業

平成19年度 試験研究指導費（標準）

平成19年度 グリーンふるさと振興機構 起業化支援研究会

担当部門

先端技術部門

部門長 浅野 俊之

技師 石渡 恭之

TEL : 029-293-7495